



理念・目標

本研究科は、社会情報学の深化と発展を図り、社会的・時代的な要請を受けて活躍することのできる「高度専門職業人」および「実践的研究者」を養成することを目的とします。

高度専門職業人とは、人文・社会科学、情報科学の知識とそれに基づいた社会的洞察力・状況分析能力・科学的思考能力を駆使して、行政・企業・NPOなどの各種組織において意思決定に具体的・実践的に関与できる人材を指します。

実践的研究者とは、社会情報過程の主体としての人間と情報化の共存という視点に立って、情報化の進展に伴う経済・社会・産業の諸問題や、地域社会における多様な組織の在り方を考究できる人材を指します。

社会情報学の 深化 ・ 発展

高度専門職業人の養成

実践的研究者の養成

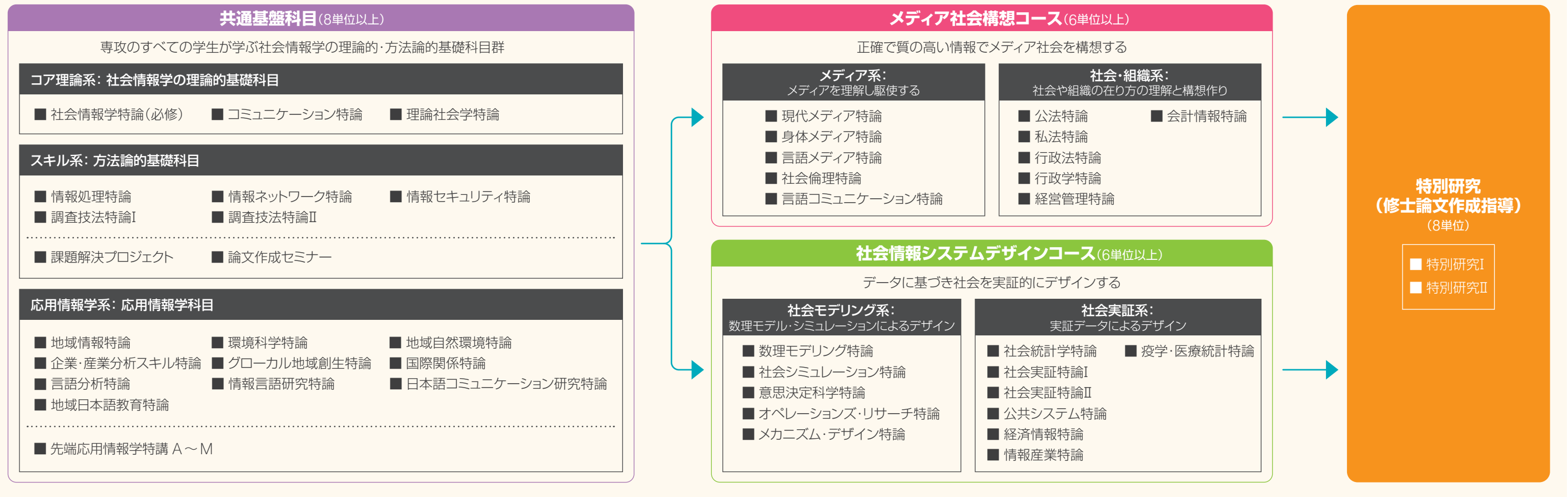
研究科の構成

その目的を実現するために、本研究科は、次の2つのコースを設けています。

▶ **メディア社会構想コース** 本コースは、従来からの本研究科の特色を生かしたコースです。ここでいう社会には、企業や行政組織などある目的のため集まった人々(集団)を含みます。メディアは、それを支える電子的な技術や人間本来の言語的・非言語的なコミュニケーションなどを含むより広い概念です。このようなメディアを活用して(質の高い社会的コミュニケーションにより)、人々の価値観を統合して、望ましい新たな社会のあり方を構想できる人材を育成します。

▶ **社会情報システムデザインコース** 本コースは、現在の社会における強い求めに応じて強化されたコースです。社会から情報を獲得、分析、結果を報告する力を養うためのカリキュラムを提供することで、科学的に妥当な社会実験・シミュレーション・データの結果に基づいて、社会システムをデザインできる人材を育成します。

科目区分図



教員・専門分野



平田 知久 准教授
メディアの社会史
比較社会学
近現代思想

私たちは、メディア技術の利用方法の決定が、社会の大枠のあり方(グランドデザイン)の決定とほぼ同じ意味を持つ時代に生きています。この研究科で、一緒に社会と技術の「良きあり方」について考え、それを実践してみませんか。



高山 利弘 教授
日本文学
言語文化

社会情報学研究科が擁する学問分野は裾野が広く、社会のさまざまな事象を俯瞰できます。各自の研究テーマを深化させつつ、知への欲求を満たす貴重な経験をしてください。



杉山 学 教授
オペレーションズ・リサーチ
経営科学
経営情報学

直観ではなく、社会実験やシミュレーション、ビッグデータやオープンデータの解析結果など科学的な根拠に基づいて社会システムをデザインする。難しいかゆえにやりがいがあり、また、役立つ。そんな社会情報学にあなたのオリジナルなアイデアを付け加えませんか。

石川 真一 教授
生態学、環境科学、植物生理学

岩井 淳 教授
情報工学、社会学

柴田 博仁 教授
ユーザインターフェースデザイン、認知科学

野田 岳人 教授
政治学、国際関係論、日本語教育

鳶島 修治 准教授
計量社会学、社会階層論、教育社会学

伊藤 賢一 教授
理論社会学、情報社会論

柿本 敏克 教授
社会心理学、グループ・ダイナミクス

西村 尚之 教授
森林生態学

結城 恵 教授
社会学、グローバル・リーダーシップ学、質的調査法

牧原 功 准教授
日本語学、言語学、日本語教育学

井門 亮 教授
言語学、語用論、関連性理論

末松 美知子^{*} 教授
舞台表象論、比較演劇

大野 富彦 准教授
経営学、経営組織

金 宰弘 准教授
会計学、環境管理会計、CSRマネジメント

河島 基弘 教授
社会学、比較文化論、環境倫理

西村 淑子 教授
行政法、環境法

北村 純^{*} 准教授
行政学、地方自治論

藤井 正希 准教授
憲法学

奥貫 圭一 教授
都市・地域解析論、地理情報科学

江良 亮 准教授
経済学、開発経済学、応用計量経済学

吉良 知文 准教授
社会シミュレーション、数理最適化とゲーム理論、人工知能

高木 理 准教授
医療情報学、医療データ分析、形式手法

松井 猛 准教授
最適化理論、意思決定支援、制度設計

小竹 裕人 教授
公共政策論、政策分析
質的調査法

片山 佳代子 准教授
疫学、社会医学、健康行動科学

坂本 和靖 准教授
計量経済学、労働経済学

永野 清仁 准教授
最適化理論、機械学習、ネットワーク最適化